

私は中高6年間、塾には通いませんでしたが、学校の授業を集中して聞き、定期テストの勉強を続けていれば、目標の大学に受かると思います。茨中・茨高は中高一貫校なので高校2年までに高校の学習が大半終わるのが大きな特徴であり、そのおかげで高校3年時に共通テストのような独特な形式のテストや大学2次試験の演習ができることが非常に助かりました。このように他の学校より早い段階から演習を始めることで、大学受験という難しい大きなイベントを優位に進めることができます。

6年間硬式テニス部の一員として活動しましたが、友達との交流が増え、運動をすることで気分転換にもなり、より6年間を有意義に過ごすことができました。定期テスト前には部活動休止期間があるので、勉強にも集中できます。また、体育祭やクラスマッチのような行事があることで、縦と横の関係が広がり、より学校生活が楽しくなります。

テスト週間という、定期テスト1週間前から部活動が休止してテスト勉強に集中する期間あったことが非常に良かったです。定期テストは授業で習ったことが身につけているか確認するものなので、定期テスト対策をしっかりとすることは大学受験という先のイベントを見据えるうえで非常に大切です。6年間年何回もの定期テストを経験してきましたが、めげずに努力できたのは、テスト週間によって勉強に特に集中する期間があり、気持ちの切り替えをスムーズにできたからだと思えます。

今のところ化学系の道に進もうと思っはいますが、総合理系という強みを活かして、大学1年生時に様々な教科を深く学び、進みたくなった道に進もうと思います。